

令和5年度 消防年報

「自主防災のまち」



令和6年刊行

長門市消防本部

は し が き

この自主防災のまちは、長門市消防本部の
消防現勢及び令和5年度中の諸般の資料を収録し、
将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一
般に紹介するため編集したものです。

なお、収録の統計資料は原則として会計年度、火災
救急救助については、暦年によるものとし、表中
特に年月日を明示したものは、その時点の現況です。

令和6年4月

長門市消防本部

目 次

【長門市消防本部の構成】

1 位 置	1
2 地 勢	1
3 面積・人口及び世帯数	1
4 管 内 図	2
5 歴代消防長	2
6 沿 革	3
7 消防信条	1 3
8 消防本部・消防署組織表	1 3
9 消防庁舎の状況	
(1) 長門市消防本部・長門市中央消防署	1 4
(2) 長門市西消防署	1 4

【総 務】

1 人 事	
(1) 消防職員の配置状況	1 5
(2) 年齢別消防職員数	1 6
(3) 在職年数別消防職員数	1 6
(4) 消防職員の特殊技能・免許取得状況	1 7
(5) 消防職員の研修状況	1 8
(6) 部外者による教養状況	1 8
2 予 算	
(1) 令和6年度当初予算	1 9
(2) 一般会計予算と消防費の比較	2 0
(3) 消防費と人口・世帯数との比較	2 0
(4) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合	2 0

【予 防】

1 防火対象物の状況	2 1
2 中高層建築物の状況	2 2
3 各種届出等事務処理件数	2 2
4 建築同意事務の状況	2 3
5 広報等の実施状況	2 3
6 危険物	
(1) 危険物施設の状況	2 4
(2) 各種届出等事務処理件数	2 4
7 消防クラブの状況	2 5

【警 防】

1	消防車両配置状況	2 6
2	通信施設状況	
(1)	無線通信施設（アナログ）	2 7
(2)	無線通信施設（デジタル）	2 7
3	消防用資器材の状況	2 8
4	消防水利の現況	2 9
5	消防相互応援協定等の締結状況	2 9

【火 災】

1	火 災	
(1)	過去5年間の火災状況	3 0
(2)	出火原因別火災発生件数	3 0
(3)	時間帯別火災発生状況	3 1
(4)	曜日別火災発生状況	3 1
(5)	気象別（風速・湿度・温度）火災発生状況	3 2
(6)	風向別火災発生状況	3 2

【救 急・救 助】

1	救 急	
(1)	過去5年間の救急出場状況	3 3
(2)	救急出場状況	3 4
(3)	救急隊別救急出場状況	3 4
(4)	月別救急出場状況	3 5
(5)	不搬送状況	3 5
(6)	時間別救急出場状況	3 6
(7)	曜日別救急出場状況	3 6
(8)	傷病程度・年齢別搬送状況	3 7
(9)	応急処置状況	3 8
(10)	特定行為等の処置状況	3 8
(11)	転院搬送状況	3 9
(12)	ドクターヘリ要請状況	3 9
(13)	診療科目別ドクターヘリ搬送状況	3 9
2	救急講習	4 0
3	救 助	4 0

【消 防 団】

1	消防団の現況	
(1)	組織	4 1
(2)	部隊別団員数と保有機材	4 2

(3) 年齢・階級別団員数	43
(4) 団員在籍年数調	43
(5) 出動状況	43

長門市消防本部の構成

1 位 置

長門市は、山口県の北西部に位置し、日本海に沿って東西につらなり、東は萩市に、西は下関市に、南は美祢市に接し、北は日本海に面している。



2 地 勢

長門市は、仙崎湾・深川湾・油谷湾などの天然の良好な港湾と、対馬海流に育まれた豊富な水産資源に恵まれ、沿岸漁業は四季を通じ活気に満ちあふれている。タイ、ヒラメ、ハマチ、クルマエビなどの養殖業や仙崎蒲鉾で全国に知られている蒲鉾製造業が盛んである。また、140.403kmの海岸線は国定公園に指定され、日本海の荒波による奇岩と紺碧の海のコントラストが調和する景観のすばらしさは訪れる人を魅了する。さらに長門湯本温泉を始めとする温泉が各地に点在するとともに、童謡詩人で知られる金子みすゞ生誕の地でもあり、全国各地から観光客が訪れている。

山地は、下関市との境にある天井ヶ岳(標高691m)を最高に、600mを超える山は一位ヶ岳(672m)、花尾山(669m)があり概して低山であるが、険しい山相を形成している。平野部は深川川をはじめ、三隅川、掛瀬川、大坊川を中心に広がり稲作を中心に耕作されているが油谷向津具半島及び宇津賀地区においては、平野部がなくいわゆる棚田で耕作されている。

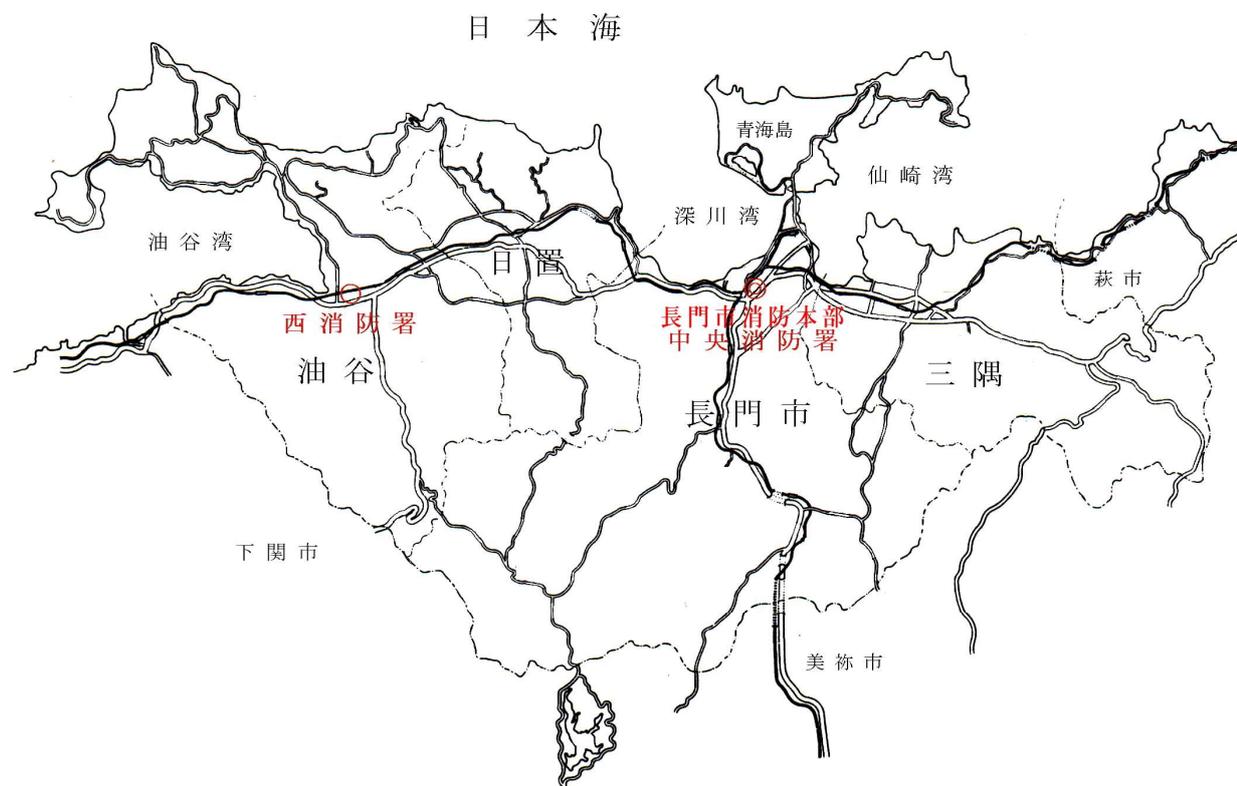
なお、平成17年3月22日に1市3町が広域合併し、長門市となった。

3 面積・人口及び世帯数

年別	区 分	面積 (k m ²)		人口	世帯数
		全面積	山林面積		
	令和2年	357.31	268.80	33,366	15,905
	令和3年	357.31	268.68	32,819	15,890
	令和4年	357.31	268.68	32,031	15,633
	令和5年	357.31	268.68	31,328	15,562
	令和6年	357.31	268.68	30,725	15,517

※面積については全国都道府県市区町村別面積調、人口・世帯数については令和6年4月1日現在

4 管内図



5 歴代消防長

	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	吉田政治	S47. 4. 1	S47. 11. 30
二代	見嶋達三	S47. 12. 1	S54. 1. 13
三代	坂本史朗	S54. 1. 14	H6. 3. 31
四代	野村元宏	H6. 4. 1	H13. 3. 31
五代	藤田良太	H13. 4. 1	H17. 3. 21
六代	宗重宏和	H17. 3. 22	H19. 3. 31
七代	廣田敏明	H19. 4. 1	H21. 3. 31
八代	大林育美	H21. 4. 1	H22. 3. 31
九代	大深順次	H22. 4. 1	H23. 3. 31
十代	吉岡務	H23. 4. 1	H25. 3. 31
十一代	財満俊夫	H25. 4. 1	H26. 3. 31
十二代	吉富一夫	H26. 4. 1	H27. 3. 31
十三代	中原弘文	H27. 4. 1	R2. 3. 31
十四代	杉村俊宏	R2. 4. 1	R4. 3. 31
十五代	岩本明	R4. 4. 1	

6 沿革

昭和47年度

4月 1日	長門市消防本部、長門市消防署を設置、職員数（定員）33名 初代消防長に吉田政治就任
10月 1日	長門市消防本部庁舎落成 鉄筋コンクリート造3階建、延床面積1,097.31㎡ 総工事費 4,260万円 消防、救急業務開始 消防職員 33名 救急自動車 1台 消防ポンプ自動車 1台 小型動力ポンプ付積載車 1台 水槽付消防ポンプ自動車 1台 その他の車両 4台
10月 1日	長門ライオンズクラブから救急自動車購入のための補助金を受ける
12月 1日	第2代消防長に見嶋達三就任

昭和48年度

4月 1日	広域消防発足（長門市・三隅町・日置村・油谷町）長門地区消防本部、長門地区消防署を長門市に、長門地区消防署西部出張所を油谷町に設置 消防職員（定員）58名
4月 5日	消防組織法第10条に基づく政令指定により三隅町、日置村、油谷町に消防本部、消防署の設置義務が課せられた
10月 4日	救急自動車1台を購入し本署に配置
1月15日	西部出張所庁舎落成 鉄筋コンクリート造平屋建、延床面積198.40㎡ 総工事費 1,440万円 西部出張所業務開始 消防職員 12名 小型動力ポンプ付積載車 1台 消防ポンプ自動車 1台 その他の車両 1台 救急自動車 1台
2月 5日	長門市俵山において山口県大火災防ぎょ演習実施

昭和49年度

4月 1日	下関地区広域行政事務組合と消防相互応援協定締結
5月22日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け本署に配置
8月 1日	萩市、美祢市及び仙崎海上保安部と消防相互応援協定締結
10月 1日	消防吏員1名を採用

昭和50年度

1月19日	「防火の日」「防火の時間」制定 防火の日 毎月19日 防火の時間 毎日午後9時
3月27日	アメダス気象観測所設置 下関地方気象台が西部出張所敷地内に気象観測所を設置

昭和51年度

4月 1日 消防吏員2名を採用

昭和52年度

6月 1日 管内市町村の役場、支所等に設置している119番の電話を本署、西部出張所に移設し119番の集中管理を開始

11月30日 15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車購入、愛称を募集し「ひまわり」と命名、本署に配置

1月 1日 西部出張所1名増員

3月 7日 消防庁長官表彰（竿頭綬）受賞

昭和53年度

4月 1日 日置村が町制施行
消防吏員1名、消防職員1名を採用

5月15日 長門市で自治体消防制度発足30周年記念第27回山口県消防大会を開催

9月 1日 本部に消防車庫増築（59.15㎡）

1月14日 第3代消防長に坂本史朗就任

3月 1日 救急テレホンサービス開始（休日診療、在宅当番医の案内電話を本署及び西部出張所に配置）

3月 7日 山口県知事表彰（表彰旗）受賞

山口県消防協会長表彰（表賞状）受賞

昭和54年度

4月 1日 消防吏員1名を採用

6月30日 火災予防の充実を図るため査察車を購入し本署に配置

11月 7日 日本顕彰会表彰（社会貢献団体）受賞

1月23日 山口県生命建物共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置

2月15日 防災行政無線使用開始（山口県防災行政無線整備改善事業）本部、本署に設置

昭和55年度

8月27日 日本消防協会から消防指令広報車の寄贈を受け本部に配置

3月23日 山口県医療情報システム運用開始

昭和56年度

11月25日 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け西部出張所に配置

昭和57年度

9月 1日 消防一斉通報装置（VIPコール）を本署に設置

12月28日 西部出張所の小型動力ポンプ積載車を更新

1月14日 全国に先駆け、三ない運動（寝たばこ、深酒、うたた寝）をスローガンとした三隅町老人防火救急クラブ発足

昭和58年度

5月26日 三隅町野波瀬地区で山口県総合防災訓練を実施

6月30日 本署の小型動力ポンプ積載車を更新

8月11日 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置

- 10月14日 | 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け本署に配置
- 10月24日 | 広域消防発足10周年記念式典を挙
- 3月9日 | 消防庁長官表彰（表彰旗）受賞

昭和60年度

- 11月25日 | 日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け本部に配置

昭和61年度

- 4月1日 | 消防吏員1名を採用
- 6月10日 | 本部の水防車（ジープ）を更新
- 8月20日 | 日本消防協会から防災用伝達器材（携帯局10台、携帯用拡声器2台）の寄贈を受け本署に配置

昭和62年度

- 9月21日 | 本署の消防ポンプ自動車を更新
- 11月26日 | 油谷町掛漕、駅通地区で山口県大火防ぎょ演習を実施

昭和63年度

- 4月1日 | 広域消防発足15周年記念式典を挙
- 7月7日 | 本部の査察車を更新
- 10月20日 | 西部出張所の消防ポンプ自動車を更新

平成元年度

- 6月30日 | 本部の広報車を更新
- 10月17日 | 消防用無線電話機（基地局2、移動局7、携帯局2）を更新
- 11月9日 | 三隅町で長門地区老人防火救急クラブ大会を開催

平成2年度

- 5月16日 | 長門市湯本で全国消防長会人事教養委員会を開催
- 5月21日 | ゴルフカートを改造しミニ消防車を制作、愛称を募集し「ミニファイヤー」と命名
- 12月15日 | 救助工作車を購入し本署に配置
- 2月15日 | 山口県生命建物共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け西部出張所に配置
- 2月28日 | 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置

平成3年度

- 4月1日 | 消防吏員3名を採用
- 8月9日 | 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け本署に配置
- 10月27日 | 長門市で山口県幼年消防クラブ大会を開催
- 10月31日 | 本部に消防車庫新築
鉄骨造平屋建、床面積112.39㎡
総工事費603万円
- 3月7日 | 山口県知事表彰（竿頭綬）受賞

平成4年度

- 4月1日 | 消防吏員3名を採用

5月20日	本署の有線電話をダイヤルイン方式に更新
7月29日	本署の小型動力ポンプ積載車を更新
9月4日	山口県衛星通信ネットワーク運用開始
12月25日	本署の消防ポンプ自動車を更新
平成5年度	
4月1日	職員定数条例の改正により、職員定数が64名となった。 消防吏員3名を採用し実員61名。週休2日制実施
5月25日	広域消防発足20周年記念式典を挙げる
7月30日	西部出張所の小型動力ポンプ積載車を更新
8月9日	救急高度化に伴う救急資機材(9項目)を本署に配置
平成6年度	
4月1日	第4代消防長に野村元宏就任 消防組織を改編し、長門地区消防署を長門地区中央消防署に、長門地区消防署西部出張所を長門地区西消防署に改称 消防吏員4名を採用し実員64名
7月15日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け中央消防署に配置
7月20日	救急高度化に伴う救急資機材(9項目)を西消防署に配置
11月20日	長門市仙崎で第14回全国豊かな海づくり大会が開催され、天皇陛下御幸啓に伴い消防特別警戒を実施
1月12日	西消防署事務室増築(増築面積:40.63㎡) 鉄筋コンクリート造平屋建、床面積239.03㎡ 総工事費17,809千円
平成7年度	
4月1日	消防吏員2名を採用
5月12日	救急救命士資格取得1名
5月31日	長門市で第44回山口県消防大会を開催
8月7日	長門ライオンズクラブから救急訓練用人形2体の寄贈を受ける
8月10日	日本消防協会から消防指令広報車の寄贈を受け西消防署に配置
2月15日	消防本部庁舎1階・中央消防署事務室増築(増築面積:47.47㎡) 鉄筋コンクリート造3階建、延床面積1,203.93㎡ 総工事費40,293千円
平成8年度	
4月1日	山口県内広域消防相互応援協定の締結
5月14日	救急救命士資格取得1名
11月19日	救急救命士資格取得1名
12月25日	高規格救急自動車を中央消防署に配置
2月3日	中央消防署高度救急業務運用開始
3月6日	消防用無線中継局運用開始
平成9年度	

5月13日	長門市で全国消防長会財政委員会を開催
6月6日	長門市で第7回山口県危険物安全大会を開催
9月1日	長門市総合公園を主会場に市内3会場で山口県総合防災訓練を実施
11月12日	救急救命士資格取得1名
平成10年度	
11月12日	救急救命士資格取得1名
12月8日	中央消防署配置の15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車をはしご付消防自動車(30m級)に更新
2月18日	山口県共済農業協同会連合会及び長門大津農業協同組合から救急自動車の寄贈を受け中央消防署に配置
3月30日	日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け西消防署に配置
平成11年度	
6月29日	本部の査察車を更新
10月29日	西消防署高規格救急自動車に高度救命処置用資機材を積載
10月29日	消防本部庁舎補修工事(床及び外壁) 総工事費5,775千円
10月29日	西消防署車庫増築及びホース洗い場改修工事(増築面積:38.69㎡) 鉄筋コンクリート造平屋建、床面積277.72㎡ 総工事費5,145千円
11月1日	西消防署高度救急業務運用開始
11月12日	救急救命士資格取得1名
11月23日	通信指令装置更新
1月4日	山口県消防防災ヘリコプター隊員に1名派遣
平成12年度	
4月1日	消防吏員1名採用し、定数外1名
7月1日	高度救急業務24時間指示体制確立
9月1日	本部の広報車を更新
11月1日	救急救命士資格取得1名
2月15日	中央消防署に救急消毒室新設 総工事費8,925千円
平成13年度	
4月1日	第5代消防長に藤田良太就任
4月1日	消防吏員3名採用
5月11日	救急救命士資格取得1名
9月10日	指揮車更新
10月26日	長門市で第16回山口県幼年消防クラブ大会を開催
11月2日	交替制勤務者の3部制実施
3月11日	西消防署に救急消毒室新設 総工事費7,665千円

平成14年度

- 4月 1日 消防吏員1名採用
- 9月 9日 ポストメディック（郵便救急隊）発足
- 11月14日 救急救命士資格取得1名

平成15年度

- 9月 9日 救急ステーション（応急救護支援事業所）事業発足
- 10月20日 中央消防署の消防ポンプ自動車を更新
- 11月17日 救急救命士資格取得1名
- 11月20日 中央消防署の資機材搬送車を更新
- 1月23日 （財）救急振興財団から、心肺蘇生訓練用シミュレーターの寄贈を受ける

平成16年度

- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 4月 1日 緊急援助隊として消火部隊、救急部隊、特殊装備部隊の3隊を登録
- 7月14日 三隅町で平成16年度山口県消防長研修会を開催
- 9月 9日 長門市で平成16年度山口県救急フェアin長門を開催
- 3月18日 安全・安心のまちづくりのための、ポストメディック事業及び救急ステーション制度が評価を受け、毎日新聞社から「毎日・地方自治大賞特別賞」を受賞
- 3月21日 一部事務組合の構成団体である長門市、三隅町、日置町及び油谷町が合併することにより長門地区広域行政事務組合を解散
- 3月22日 長門市、三隅町、日置町及び油谷町の1市3町の合併により新市「長門市」が誕生 第6代消防長に宗重宏和就任
新市発足により、長門地区消防本部を長門市消防本部に、長門地区中央消防署を長門市中央消防署に、長門地区西消防署を長門市西消防署に名称変更
長門市消防本部に消防団係を新設し、消防職員の定員を67名とした
また、消防団組織についても1市3町の消防団を統合、1団本部、12分団、42部隊に編成し、定員1,197名とした

平成17年度

- 7月28日 西消防署の資機材搬送車を更新
- 10月19日 携帯電話119直接受信装置を設置し、県下一斉に運用開始
- 12月22日 中央消防署の高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を更新
- 3月27日 自家発電設備設置

平成18年度

- 4月 1日 職員数条例の改正により、職員定数が70名となる
- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 4月 1日 「長門市自動体外式除細動器購入費助成事業」開始
- 9月 2日 長門市消防防災訓練実施 防災関係機関等450名参加
- 11月 9日 はしご付消防自動車のオーバーホールを実施
- 11月29日 下関・長門地域MC協議会開催
- 12月25日 キュービクル受変電設備設置

平成19年度

- 4月 1日 第7代消防長に廣田敏明就任
- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 11月16日 (財)日本防火協会の助成事業により、模擬消火訓練装置を購入
- 2月22日 西消防署の消防ポンプ自動車を更新し、救助資機材を積載
- 3月19日 山口県総合防災情報ネットワークシステム(地上・衛星系)構築による運用開始

平成20年度

- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 8月25日 小型動力ポンプ付積載車2台、小型動力ポンプ5台更新(消防団)

平成21年度

- 4月 1日 第8代消防長に大林育美就任
- 4月 1日 消防吏員7名採用
- 6月26日 エアーテント購入
- 7月 9日 小型動力ポンプ2台更新(消防団)
- 9月17日 消防ポンプ自動車1台更新(仙崎分団第4部隊)
- 10月20日 西消防署の高規格救急自動車を更新
- 12月25日 地図検索システム導入
- 3月31日 深川北第2部隊(上ノ原)消防機庫建設

平成22年度

- 4月 1日 第9代消防長に大深順次就任
- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 7月 1日 消防団の定員を1,070名とした
- 8月25日 小型動力ポンプ1台更新(三隅第2分団市部隊)
- 12月 6日 中央消防署の救助工作車を更新
- 3月11日 日本消防協会から防災活動車の寄贈を受け中央消防署に配置

平成23年度

- 4月 1日 第10代消防長に吉岡 務就任
- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 9月 8日 西消防署仮眠室改修
- 9月13日 中央消防署仮眠室改修
- 11月 9日 小型動力ポンプ付積載車1台更新(三隅第3分団浅田部隊)
小型動力ポンプ1台更新(三隅第3分団沢江部隊)
- 3月12日 中央消防署の高規格救急自動車を更新
- 3月30日 仙崎分団第2部隊(大泊)消防機庫建設

平成24年度

- 4月 1日 消防吏員5名採用
- 6月 7日 長門市で第22回山口県危険物安全大会を開催
- 7月24日 小型動力ポンプ1台更新(深川北分団第3部隊上川西)
- 10月23日 長門大津農業協同組合及び全国共済農協協同組合連合会山口県本部から、消防用

- 資材搬送車の寄贈を受け、中央消防署に配備
- 1 1 月 1 3 日 長門市湊 1 西区において、全半焼等を含め 2 2 棟を焼損する火災発生
焼損面積 1, 2 4 3 m² り災世帯 2 0 世帯 4 3 人
- 1 月 2 9 日 小型動力ポンプ積載車 1 台更新 (深川南分団第 1 部隊)
- 3 月 5 日 向津具分団大浦部隊消防機庫建設
- 3 月 2 7 日 消防・救急デジタル無線整備完了 (平成 2 5 年 4 月 1 日運用開始)

平成25年度

- 4 月 1 日 第 1 1 代消防長に財満俊夫就任
- 4 月 1 日 消防吏員 3 名採用
- 9 月 1 0 日 小型動力ポンプ 1 台更新 (宇津賀分団立石部隊)
- 1 1 月 1 5 日 西消防署の指揮車を更新
- 1 2 月 1 8 日 小型動力ポンプ積載車 1 台更新 (深川北分団第 2 部隊上ノ原)
- 1 2 月 2 1 日 消防ポンプ自動車更新 (通分団第 1 部隊・日置分団第 3 部隊)
- 2 月 2 7 日 総務省より救助資機材付消防ポンプ自動車無償貸付 (仙崎分団第 3 部隊)
- 3 月 2 7 日 中央消防署の災害対応特殊消防ポンプ自動車を更新

平成26年度

- 4 月 1 日 第 1 2 代消防長に吉富一夫就任
- 4 月 1 日 消防吏員 5 名採用
- 5 月 2 日 新消防庁舎建設基本・実施設計業務委託契約締結
- 7 月 2 8 日 小型動力ポンプ 1 台更新 (俵山分団第 1 部隊大羽山)
- 8 月 4 日 小型動力ポンプ 1 台更新 (深川南分団第 3 部隊洪水)
- 1 0 月 2 0 日 消防ポンプ自動車更新 (深川北分団第 1 部隊湊)
- 1 2 月 2 2 日 日本損害保険協会から、小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈
(深川南分団第 3 部隊大埤)
- 1 月 1 1 日 長門市初女性消防団員 2 名入団
- 3 月 6 日 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車を中央消防署に配置
- 3 月 2 6 日 宇津賀分団後畑部隊消防機庫建設

平成27年度

- 1 月 1 2 日 向津具分団田久道部隊を久津部隊に統合し、4 1 部隊となった
- 4 月 1 日 第 1 3 代消防長に中原弘文就任
- 4 月 1 日 消防吏員 3 名採用
- 8 月 2 5 日 台風 1 5 号による被害
- 9 月 2 6 日 新消防庁舎建設工事着手
- 9 月 2 8 日 新消防庁舎建設工事起工式・安全祈願祭
- 1 0 月 8 日 昭和 5 0 年 1 月 1 9 日に制定された「防火の日」の「防火の時間」が変更
防火の日 毎月 1 9 日 防火の時間 毎日午後 7 時
- 1 2 月 2 日 消防ポンプ自動車 1 台更新 (向津具分団川尻部隊)
- 1 2 月 2 日 小型動力ポンプ付積載車 1 台更新 (三隅第 2 分団野波瀬部隊)
- 1 月 1 日 機能別消防団員制度運用開始

1月23日 | 大寒波による水道管破裂等の被害

平成28年度

- 4月 1日 | 消防吏員2名採用
- 9月27日 | 本部の消防団指令車を更新
- 10月18日 | 小型動力ポンプ1台更新(俵山分団第2部隊湯町)
- 11月10日 | 旧消防庁舎解体工事着手
- 11月30日 | 新消防庁舎建築工事完了
- 12月 5日 | 新消防庁舎運用開始
- 12月15日 | 日露首脳会談開催(長門市湯本)に伴う警備
- 3月 2日 | 小型動力ポンプ付積載車1台更新(深川北分団第2部隊下郷)
小型動力ポンプ積載車1台更新(三隅第2分団市部隊)
- 3月10日 | 消防ポンプ自動車1台更新(日置分団第2部隊)

平成29年度

- 4月 1日 | 消防吏員1名採用(初の女性消防吏員)
- 6月27日 | はしご付消防自動車のオーバーホールを実施
- 6月30日 | 新消防庁舎建設事業完了
鉄筋コンクリート造4階建、床面積2,658.86㎡
総工事費16億3,014万円
- 7月12日 | 新消防庁舎竣工式
- 9月19日 | 小型動力ポンプ1台更新(向津具分団本郷部隊)
- 11月28日 | 消防ポンプ自動車1台更新(向津具分団大浦部隊)
- 12月14日 | 中央消防署の災害対応特殊高規格救急自動車を更新
- 2月14日 | 小型動力ポンプ積載車更新(深川北分団第2部隊境川、三隅第3分団沢江部隊)
- 3月 6日 | 深川南分団第2部隊消防機庫建設
- 3月22日 | 日置分団第1部隊消防機構建設

平成30年度

- 4月 1日 | 消防吏員2名採用
- 10月28日 | 小型動力ポンプ1台更新(通分団第1部隊)
- 12月17日 | 本部の指揮車を更新
- 1月25日 | 消防ポンプ自動車1台更新(俵山分団第2部隊)
- 2月21日 | 深川北分団第3部隊消防機庫建設
- 2月28日 | 小型動力ポンプ付積載車2台更新(三隅第1分団滝坂部隊、宇津賀分団立石部隊)

令和元年度

- 4月 1日 | 消防吏員1名採用
三隅第1分団兎渡谷部隊を宗頭部隊に統合し、40部隊となった
- 12月13日 | 本部の広報車を更新
- 2月25日 | 西消防署の高規格救急自動車を更新
- 3月 9日 | 消防ポンプ自動車1台更新(俵山分団第1部隊)
小型動力ポンプ付積載車更新(向津具分団本郷部隊)

令和2年度

- 4月 1日 第14代消防長に杉村俊宏就任
消防吏員2名採用
- 11月18日 本部の査察車を更新
- 12月24日 中央消防署の資機材搬送車を更新
- 12月25日 三隅第2分団野波瀬部隊消防機庫建設
- 1月 1日 上中小野部隊と下中小野部隊を中小野部隊に統合し、39部隊となった
- 1月22日 小型動力ポンプ付積載車更新(宇津賀分団津黄部隊、後畑部隊、角山部隊)
- 3月25日 総務省より救助資機材付消防ポンプ自動車無償貸付(日置分団第1部隊)

令和3年度

- 4月 1日 消防吏員1名採用
- 1月25日 中央消防署の30m級はしご付自動車を更新(先端屈折式)

令和4年度

- 4月 1日 第15代消防長に岩本明就任
消防吏員2名採用
- 9月 1日 小型動力ポンプ1台更新(油谷分団蔵小田部隊)
- 11月24日 中央消防署の災害対応特殊消防ポンプ自動車を更新
- 12月 7日 一般財団法人救急振興財団より救急普及啓発広報車の寄贈を受け、中央署に配置
- 12月26日 西消防署の資機材搬送車を更新
- 1月27日 西消防署庁舎建設基本・実施設計業務委託契約締結
- 2月10日 小型動力ポンプ積載車更新(深川南分団第3部隊)

令和5年度

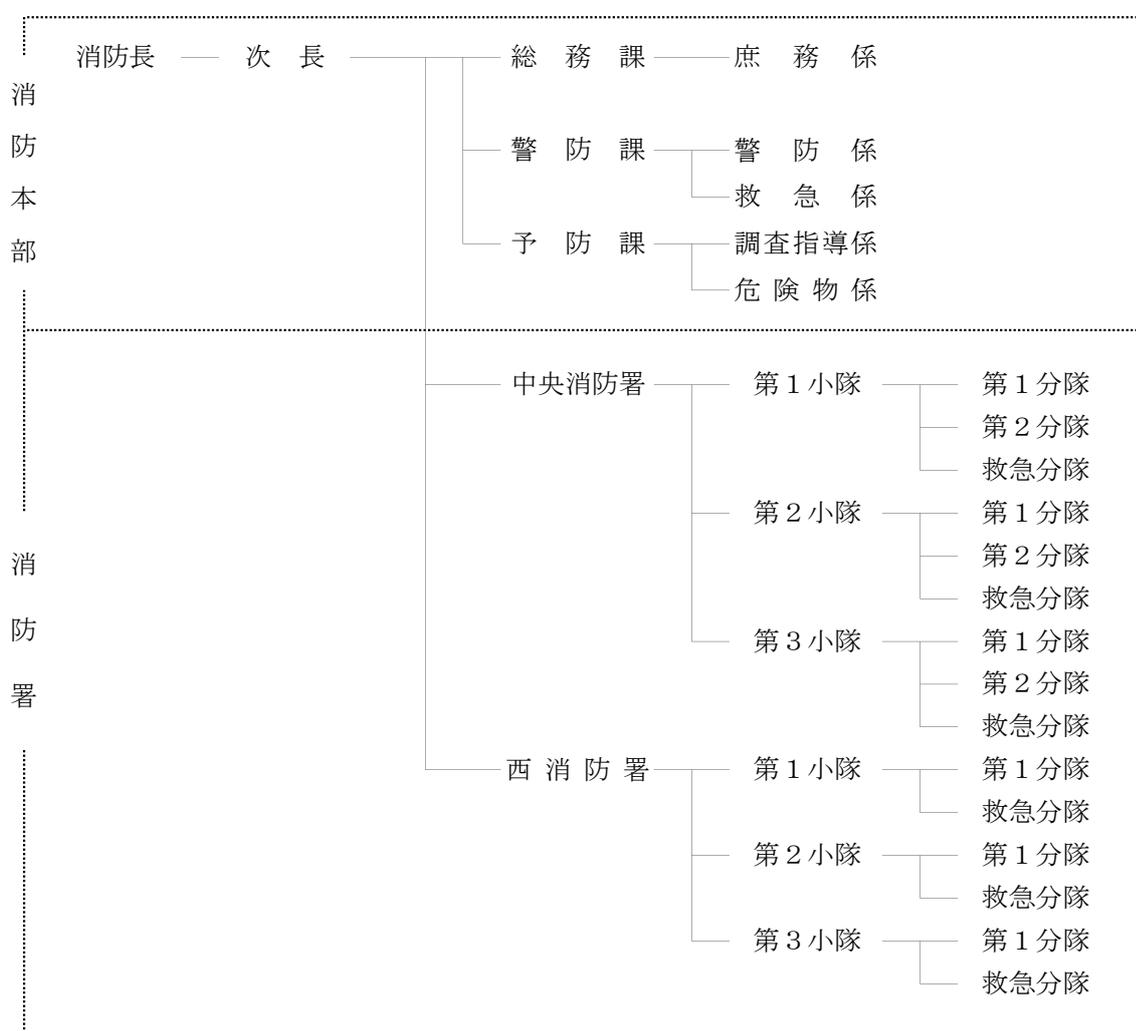
- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 8月30日 小型動力ポンプ1台更新(三隅第1分団中小野部隊)
- 1月 1日 通分団通第1部隊と第2部隊を通部隊に統合し、38部隊となった
- 1月19日 中央消防署の災害対応特殊救急自動車を更新
- 3月27日 下関市・美祢市・長門市消防指令業務共同運用に係る「高機能消防指令センターシステム整備工事」に関する覚書締結(令和8年2月運用開始予定)
- 3月28日 小型動力ポンプ付積載車更新(日置分団第2部隊、向津具分団久津部隊)

7 消防信条

- 一、 我等の消防精神は郷土愛に発する。
- 一、 我等の団結は規律と友愛によりさらに固し。
- 一、 我等の訓練は即ち実戦の構えなり。
- 一、 我等の知識技能はあくなき探求心により日々進歩すべし。
- 一、 我等の誇りは身をもって危難にあたる勇気なり。

8 消防本部・消防署組織表

(令和6年4月1日現在)



9 消防庁舎の状況

(1) 長門市消防本部・長門市中央消防署



所在地 長門市東深川1902番地1

敷地面積 3,582.55㎡

消防庁舎 鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,403.76㎡

主訓練塔 鉄筋コンクリート造5階建

延床面積 224.27㎡

(2) 長門市西消防署



所在地 長門市油谷河原1056番地3

敷地面積 676.96㎡

消防庁舎 鉄筋コンクリート造平屋建

延床面積 277.72㎡

総務

1 人 事

(1) 消防職員の配置状況

(令和6年4月1日現在)

階 級 区 分		計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	総 務 課	7 (3)		2	(1)	1 (2)		3	1
	予 防 課	4 (6)		2	2 (1)	(4)		(1)	
	警 防 課	4 (6)		4	(3)	(3)			
	小 計	17 (15)	1	9	2 (5)	1 (9)		3 (1)	1
消 防 署	中央消防署	35 (1)		2 (1)	9	17		7	
	西消防署	16		1	4	10		1	
	小 計	51 (1)		3 (1)	13	27		8	
合 計		68 (16)	1	12 (1)	15 (5)	28 (9)		11 (1)	1

※ () は本部・署間の兼務者数を示す

(2) 年齢別消防職員数

(令和6年4月1日現在)

階級別 年齢別	計	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	事務吏員
計	68	1	12	15	28		11	1
20歳未満	2						2	
20～24	4						4	
25～29	7				2		5	
30～34	15				15			
35～39	17			6	11			
40～44	6			6				
45～49	8		4	3				1
50～54	8		8					
55歳以上	1	1						
平均年齢	36.9	56.0	50.7	41.1	33.3		22.5	49.0

(3) 在職年数別消防職員数

(令和6年4月1日現在)

階級別 在職年数別	計	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	事務吏員
計	68	1	12	15	28		11	1
1年未満	2						2	
1～4	6						6	
5～9	7				5		2	
10～14	19			1	17		1	
15～19	14			8	6			
20～24	6			6				
25～29	2		1					1
30年以上	12	1	11					
平均在職年数	16.6	38.0	31.3	18.4	12.3		3.1	27.0

(4) 消防職員の特殊技能・免許取得状況

(令和6年4月1日現在)

階級別 人員		計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
		68	1	12	15	28		11	1
自動車	大型一種	34		5	11	18			
	大型特殊	2			2				
	中型一種	4			1	3			
	中型(8t限定)	15	1	7	3	3			1
	準中型								
	準中型(5t限定)	7				4		3	
	普通一種	8						8	
	自動二輪	19		5	6	7		1	
消防設備	消防設備士(甲種)	1		1					
	消防設備士(乙種)	3		1	1	1			
無線	特殊無線技士	1	1						
	第2級特殊無線技士	18		12	6				
	第3級特殊無線技士	46			9	28		9	
その他の免許等	玉掛け・小型移動式クレーン	30		4	9	17			
	危険物取扱者	33		7	10	15		1	
	救急Ⅱ課程(標準課程)	44		5	10	22		7	
	救急救命士	21	1	7	5	6		2	
	足場組立責任者	4		1		3			
	ガス溶接技能士	2		1		1			
	特定化学物質等作業主任者	1	1						
	小型船舶操縦士	6		3	1	2			
	潜水土	2		2					
予防技術検定(各種)	35		6	11	18				

(5) 消防職員の研修状況

教育科目		年度別					
		計	1	2	3	4	5
消防大学校	警防科						
	火災調査科	1		1			
救急救命研修	救急救命士						
	気管挿管	5	1	1	1	1	
消防実務講習会		4				4	
企業防災対策指導研修会		6	1	2	1	1	
違反是正事例発表会		8	2	2	2	1	
調査技術会議		7	2			2	
山口県 消防学校	初任総合教育	8	1	2	1	2	
	幹部教育	初級幹部科	3	1		1	1
		中級幹部科	1				1
	専科教育	予防査察科	1				1
		火災調査科	6	2	1	1	1
		救助科	8	2	1	2	2
	その他の教育	大規模災害対策科	4	1		1	1
計		62	13	10	10	16	

(6) 部外者による教養状況

教養内容		年度別				
		計	1	2	3	4
救急症例検討会		3	1	1		1
交通安全講習会		4	1		1	1
ハラスメント講習会		3				2
計 (回)		10	2	1	1	4

2 予 算

(1) 令和6年度当初予算

(単位：千円)

項 目	節	予 算 額
消 防 費	総 合 計	1,337,329
常 備 消 防 費	合 計	1,215,696
	給 料	243,355
	職 員 手 当 等	166,156
	共 済 費	75,091
	報 償 費	20
	旅 費	1,301
	需 用 費	23,894
	役 務 費	5,905
	委 託 料	38,424
	使 用 料 及 び 賃 借 料	1,849
	工 事 請 負 費	318,291
	備 品 購 入 費	7,291
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	333,711
	公 課 費	408
非 常 備 消 防 費	合 計	111,131
	報 酬	21,742
	報 償 費	70
	旅 費	18,785
	需 用 費	13,847
	役 務 費	599
	委 託 料	2,501
	使 用 料 及 び 賃 借 料	696
	備 品 購 入 費	27,330
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	24,287
消 防 施 設 費	合 計	10,502
	需 用 費	471
	使 用 料 及 び 賃 借 料	21
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	10,010

(2) 一般会計予算と消防費の比較

令和6年4月現在（単位：千円）

一般会計予算額	消防費予算額	割合 (%)	消 防 費					
			常 備 消防費	割合 (%)	非常備 消防費	割合 (%)	消 防 施設費	割合 (%)
22,590,000	1,337,329	5.9%	1,215,696	90.9%	111,131	8.3%	10,502	0.8%

(3) 消防費と人口・世帯数との比較

令和6年4月現在（単位：千円）

令和6年度 消防費予算額	人口1人当 平均負担額	1世帯当 平均負担額
1,337,329	44	86

(4) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合

令和6年4月現在

消防職員1人に対して			消防署数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急車1台に対して		
68人			2署			3台			3台		
面積(k㎡)	人 口	世帯数	面積(k㎡)	人 口	世帯数	面積(k㎡)	人 口	世帯数	面積(k㎡)	人 口	世帯数
5.3	452	228	178.7	15,363	7,759	119.1	10,242	5,172	119.1	10,242	5,172

予 防

1 防火対象物の状況

用途		区分	防火対象物数	防火管理者選任数	防災管理者選任数	防火対象物定期点検報告対象物数	立検入数
計			1,512	345	3	34	622
1	イ	劇場、映画館等	1	1		1	1
	ロ	公会堂又は集会場	1	1		1	1
2	イ	キャバレー、カフェー等					
	ロ	遊技場、ダンスホール	2	1		1	2
	ハ ニ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等 カラオケボックス等	1	1			1
3	イ	待合、料理店等					
	ロ	飲食店	21	15		2	19
4		百貨店、店舗、マーケット等	60	48		8	60
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	84	27	1	9	78
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	192	8			39
6	イ	(1) 病院	1				1
		(2) 診療所					
		(3) (1)、(2)以外の病院及び診療所	10	4	1	3	10
		(4) 入院施設のない診療所	14	3			14
	ロ	(1) 老人短期入所施設	22	10			22
		(2) 救護施設					
		(3) 乳児院					
		(4) 障害児入所施設					
		(5) 障害者支援施設	3	2			3
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター	10	2			9
		(2) 更生施設					
		(3) 助産施設、保育所	10	4			10
		(4) 児童発達支援センター	1				1
		(5) 障害者支援施設	11	4			11
	二	幼稚園又は特別支援学校	3	2			3
7		小学校、中学校、高等学校等	63	16			11
8		図書館、博物館、美術館等	8	4			1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等					
	ロ	イ以外の公衆浴場	5	4			
10		車両の停車場等	2				
11		神社、寺院、教会等	54	41			12
12	イ	工場、作業場	264	5	1		60
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	2				
13	イ	自動車車庫又は駐車場	26				3
	ロ	飛行機等の格納庫					
14		倉庫	227				75
15		前各項に該当しない事業場	331	52			118
16	イ	複合用途対象物（特定を含む）	44	54		9	42
	ロ	複合用途対象物（その他）	31	34			7
16の2		地下街					
16の3		準地下街					
17		重要文化財、史跡等	8	2			8

備考 防火対象物数は休止中等を含む。

2 中高層建築物の状況

階 数	棟 数
計	52
10階	2
9階	
8階	2
7階	2
6階	5
5階	11
4階	30

3 各種届出等事務処理件数

届 出 の 種 類	受 理 数
防火対象物使用開始届	11
火気使用設備等設置届	5
電気設備等設置届	10
ネオン管灯設備設置届	
水素ガスを充填する気球の設置届	
焚火行為等届	649
煙火打上げ、仕掛け届	14
催物開催届	2
水道断減水届	7
道路工事届	214
露店等の開設届	49
少量危険物等貯蔵取扱届	8
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	9
防火(防災)管理者選解任届	67
消防計画作成変更届	76
工事整備対象設備等着工届	23
消防用設備等設置届	56
消防用設備等点検結果報告書	467
防火(防災)対象物定期点検結果報告書	7
屋外催しに係る防火管理	1

4 建築同意事務の状況

内 訳 区分	計	建 築 種 別 内 訳							
		新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他
計	26	18	7					1	
確認申請	25	17	7					1	
計画通知	1	1							
許可申請									

5 広報等の実施状況

内 容	区 分	実 施 数	参 加 者
巡回広報		37	96
有線テレビ、短波放送による広報		36	36
防火管理講習会		1	32
防火講習会		6	150
防火パレード		1	6

6 危険物

(1) 危険物施設の状況

施設種別		区分	施設数	5倍以下	5倍超 10倍以下	10倍超 50倍以下	50倍超 100倍以下	100倍超 150倍以下	150倍超 200倍以下	200倍超	立入 検査数
合計			161	57	24	50	17	6	4	3	91
貯蔵所	計		99	49	13	30	7				59
	屋内貯蔵所		18	12	4	2					5
	屋外タンク貯蔵所		33	4	2	21	6				24
	屋内タンク貯蔵所		2	1	1						
	地下タンク貯蔵所		28	15	5	7	1				13
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所		17	17							17
	屋外貯蔵所		1		1						
取扱所	計		62	8	11	20	10	6	4	3	32
	給油取扱所		42	2	5	12	10	6	4	3	24
	一般取扱所		20	6	6	8					8

備考 施設数は休止中等を含む。

(2) 各種届出等事務処理件数

区分	設置		変更		完成検査前検査申請 (水圧・水張)	仮使用承認申請	仮貯蔵・仮取扱承認申請	予防規程制定・変更認可申請	品名・数量又は指定数量の倍数変更届	保安監督者選解任届	軽微変更届	休止・再開届	譲渡・引渡届	廃止届
	許可申請	完成検査申請	許可申請	完成検査申請										
受理数	1	1	6	5		6			1	27	16	1		2

7 消防クラブの状況

	名 称	所 在 地	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
幼 年	あおい幼稚園幼年消防クラブ	長門市白瀉2区	昭和59年2月26日	136名
	みすゞ保育園幼年消防クラブ	〃 錦町	昭和59年3月4日	72名
	みのり保育園幼年消防クラブ	〃 板持4区	平成19年4月2日	127名
	深川幼稚園幼年消防クラブ	〃 正明市5区	昭和60年7月13日	91名
	俵山幼児園幼年消防クラブ	〃 大羽山	昭和61年11月29日	4名
	三隅保育園幼年消防クラブ	〃 豊原	平成17年4月1日	73名
	宗頭幼稚園幼年消防クラブ	〃 宗頭	昭和57年5月1日	4名
	日置保育園幼年消防クラブ	〃 古市	昭和60年5月2日	53名
	黄波戸保育園幼年消防クラブ	〃 黄波戸	昭和60年7月12日	6名
	菱海保育園幼年消防クラブ	〃 東大坊	昭和57年12月1日	45名
	向津具保育園幼年消防クラブ	〃 久津	平成23年4月1日	12名
	小計	11クラブ		
婦 人	日置婦人防火クラブ	長門市日置	平成4年3月30日	725名
小計	1クラブ			725名
老 人	長門市老人防火クラブ連合会	長門市正明市2区	平成19年7月1日	778名
小計	1クラブ			778名
合 計	13クラブ			2,126名

警 防

1 消防車両配置状況

(令和6年4月1日現在)

所属	車 両 名 称	種 別	メーカー	購入年・月	定員	型別・ポンプ級別等
消 防 本 部	長門 6	指揮車	日産	平成30年12月	5	
	長門 15	広報車	日産	令和元年12月	8	
	長門 14	査察車	トヨタ	令和2年11月	8	
	消防団車	消防団指令車	日産	平成28年9月	5	
	長門 17	防災活動車	スバル	平成23年3月	4	
中 央 消 防 署	長門 1	消防ポンプ自動車	日野	令和4年11月	5	CD-I型 A2
	長門 3	消防ポンプ自動車	日野	平成26年3月	5	CD-I型 A2
	長門 9	はしご車	日野	令和4年1月	6	30m級先端屈折式
	長門 10	化学消防ポンプ自動車	日野	平成27年3月	6	II型 A2
	長門 4	高規格救急自動車	トヨタ	平成29年12月	7	
	長門 12	高規格救急自動車	トヨタ	令和6年1月	7	
	長門 16	救助工作車	日野	平成22年12月	6	II型
	長門 7	資材搬送車	トヨタ	令和2年12月	2	
	長門 18	資材搬送車	日産	平成24年10月	3	
	長門 2	高規格救急自動車	日産	平成24年3月	7	
	救急普及啓発広報車	広報車	日産	令和4年12月	4	
西 消 防 署	長門 8	指揮車	トヨタ	平成25年11月	5	
	長門 11	消防ポンプ自動車	日野	平成20年2月	5	CD-I型 A2
	長門 5	高規格救急自動車	日産	令和2年2月	7	
	長門 13	資材搬送車	ダイハツ	令和4年12月	2	

2 通信施設状況

(1) 無線通信施設(アナログ) (令和6年4月1日現在)

種別	区分	設置場所	数量	呼出名称	出力(W)
基地局		消防本部	1		10
固定局		消防本部	1	ぼうさい ながとしょうぼう	5
陸上移動局(車載)		消防本部	1	ながと 18	10
陸上移動局(携帯)		消防本部	4		5

(2) 無線通信施設(デジタル)

種別	設置場所	数量	呼出名称	出力(W)		
基地局 (4局)	消防本部	1	ながと ほんぶ	10		
	俵山中継所	1	ながと たわらやま	10・20		
	日置雨乞山中継所	1	ながと あまごいやま	10		
	日尾中継所	1	ながと ひお	10・20		
固定局 (5局)	消防本部	1	ながと ほんぶ			
	俵山中継所	1	ながと たわらやま			
	日置雨乞山中継所	1	ながと あまごいやま			
	日尾	1	ながと ひお			
	萩市消防本部	1	ながと はぎしょうぼう			
陸上移動局 車載 (21局)	消防本部	5	ながと 6・14・15 17・しきほんぶ1	5		
	中央消防署	11	ながと ちゅうおう1 1・2・3・4・7 9・10・12 16・18	5		
	西消防署	5	ながと 5・8・11 にし1・13	5		
陸上移動局 携帯 (18局)	消防本部	2	ながと 101・102	1		
	中央消防署	11	ながと 103・104 105・106 107・108 109・110 111・112 113	1		
			西消防署	5	ながと 114・115 116・117 118	1

※固定局については、各固定局向けで出力が異なるため記載しない。

3 消防用資器材の状況

区分	署別			区分	署別				
	器具	計	中央署 西署		器具	計	中央署 西署		
一般救助用	かぎ付はしご	5	4	1	水難救助	救命浮輪	15	8	7
	三連はしご	2	2			救命胴衣	29	21	8
	救命索発射銃	1	1			ウエットスーツ一式	13	11	2
	マンホール救助器具	1	1			救命ボート	2	2	
重量物排除用	ラムシリンダー	2	1	1	その他の救助用	投光器一式	9	8	1
	油圧スプレッダー	1	1			携帯拡声器	8	7	1
	マット型空気ジャッキ一式	1	1			可搬発電機	8	7	1
	可搬ウインチ	2	2			発電機付投光器	3	1	2
	支柱器具一式	1	1			送排風機	2	2	
切断用	油圧切断機	1	1			エアテント	1	1	
	エンジンカッター	4	3	1		バスケット担架	2	1	1
	チェンソー	3	2	1		多目的画像探査装置	1	1	
	鉄線カッター	10	7	3		A E D	4	4	
	エアソー	1	1			バックボード一式	8	7	1
	ペダルカッター	1	1		頸椎脊椎固定搬送用器材	2	1	1	
破壊用	万能斧	14	12	2	救急資器材	自動心肺蘇生器	4	3	1
	ハンマー（大）	9	7	2		陰圧式アイソレーター	1	1	
	ハンマードリル	2	2			ポンプアップ式 アイソレーター	3	2	1
	削岩機	1	1			小型動力ポンプ	4	2	2
測定用	熱画像カメラ	6	4	2	消火用具	背負式消火水のう	21	8	13
	可燃性ガス測定器	4	3	1		簡易水槽	2	2	
	有毒ガス測定器	1	1			合成界面活性剤(㊦㊧)	180	180	
	個人線量計	10	10			水成膜泡消火薬剤(㊦㊧)	280	180	100
隊員保護用	耐電手袋	16	14	2		6 5 mmホース 2 0 m	180	120	60
	耐電長靴	12	10	2		6 5 mmホース 3 5 m	1	1	
	耐熱服	2	2			5 0 mmホース	124	94	30
	化学防護服	2	2						
呼吸保護用	空気呼吸器	24	20	4					
	空気ボンベ	63	56	7					

4 消防水利の現況

水利		地区別	計	長 門	三 隅	日 置	油 谷
		合 計	1,074	466	257	131	220
消 火 栓	計	829	367	202	84	176	
	75mm	331	117	123	25	66	
	100mm	271	110	61	33	67	
	150mm	169	90	17	25	37	
	200mm	32	25		1	6	
	250mm	21	20	1			
	300mm	5	5				
防 火 水 槽	計	213	80	47	44	42	
	公 設	40m ³	178	60	41	36	41
		50m ³	1		1		
		60m ³	1	1			
		80m ³	0				
		90m ³	2			2	
		110m ³	1			1	
	私 設	150m ³	2	2			
		40m ³	25	15	5	5	
		50m ³	1				1
		60m ³	1	1			
		100m ³	1	1			
	そ の 他	計	32	19	8	3	2
プ ー ル		20	11	4	3	2	
防 火 井 戸		12	8	4			

5 消防相互応援協定等の締結状況

協 定 の 名 称	締 結 年 月 日	協 定 先
仙崎海上保安部との業務協定	昭和49年8月1日	仙崎海上保安部
災害時の相互応援に関する協定書	平成20年1月10日	下関市
災害時の相互応援に関する協定書	平成21年8月19日	浜田市、益田市、萩市
山口県内広域消防相互応援協定	平成24年4月1日	山口県内19市町4消防組合
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	平成24年4月1日	山口県内19市町4消防組合
「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	平成24年4月1日	山口県内8市4消防組合
災害時における消防用水の供給支援に関する協定	令和4年3月3日	有限会社生コンながと

火 災

1 火 災

(1) 過去5年間の火災状況

区 分		年 別				
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
発生件数		19	16	20	21	29
火災種別	建 物	8	5	5	5	5
	林 野	1	0	3	2	2
	車 両	1	3	1	2	2
	船 舶	0	0	0	0	1
	そ の 他	9	8	11	12	19
焼損棟数	全 焼	12	4	2	5	1
	半 焼	0	2	0	0	0
	部 分 焼	10	2	3	4	1
	ぼ や	1	1	2	0	3
焼損状況	建 物 (m ²)	2,097	427	642	494	7
	林 野 (a)	1	0	3	0	10
り 災 世 帯 数		17	2	6	4	0
死傷者	死 者	1	0	0	0	0
	負 傷 者	1	3	2	2	6
損害額 (千円)	計	68,424	9,538	19,121	16,335	882

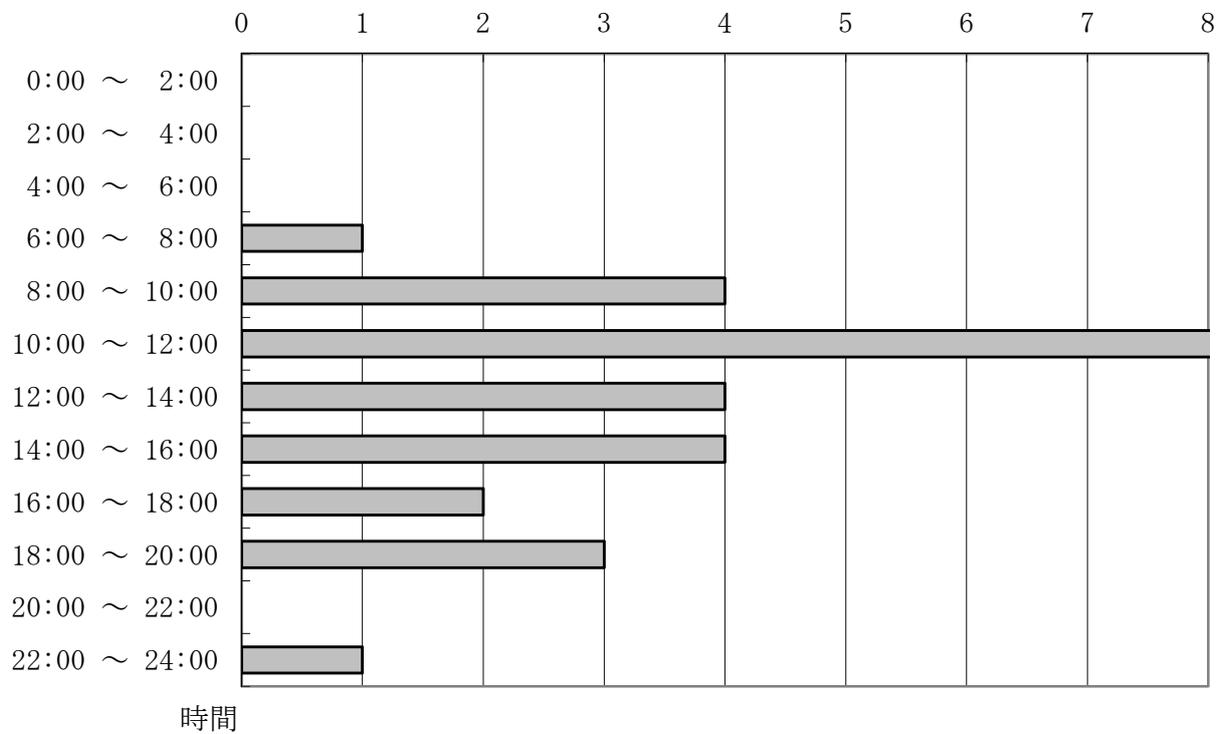
(2) 出火原因別火災件数(令和5年中)

区 分	総 数				
		たき火	電気機器	液化石油ガス	その他
件 数	29	20	4	1	4

令和5年

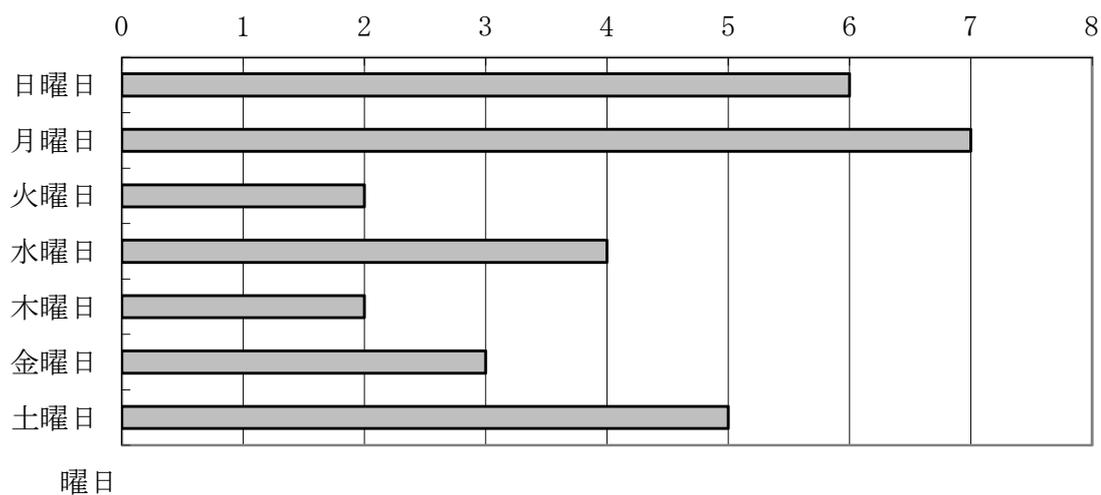
(3) 時間帯別火災発生状況

件数



(4) 曜日別火災発生状況

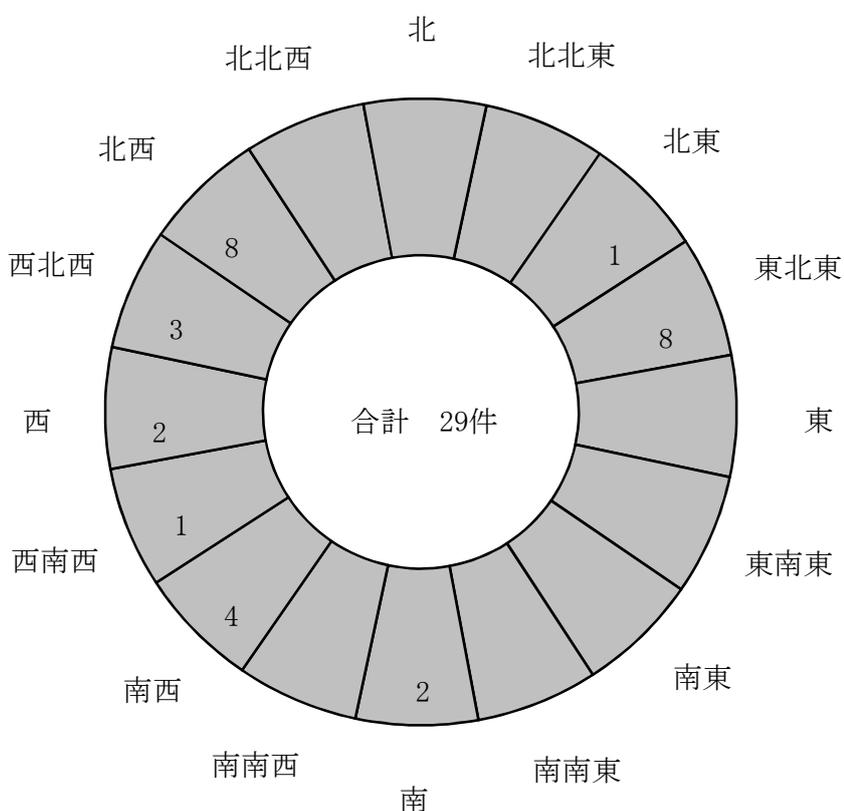
件数



(5) 気象別（風速・湿度・温度）火災発生状況

風速・ 温度 湿度 (%)	風 速 (m/sec)						温 度 (°C)								
	計	静	1	4	7	10	計	0	1	5	10	15	20	25	30
		穩	3	6	9	以上		以下	4	9	14	19	24	29	以上
計	29		19	9	1		29			1	4	9	9	6	
40以下	3		1	2			2					1	1		
41~50	5		1	4			5				1	2	1	1	
51~60	9		8	1			9			1	2	2	3	1	
61~70	6		5		1		7				1	2	2	2	
71~80	3		2	1			3					1		2	
81~90	1		1				1						1		
91~100	2		1	1			2					1	1		

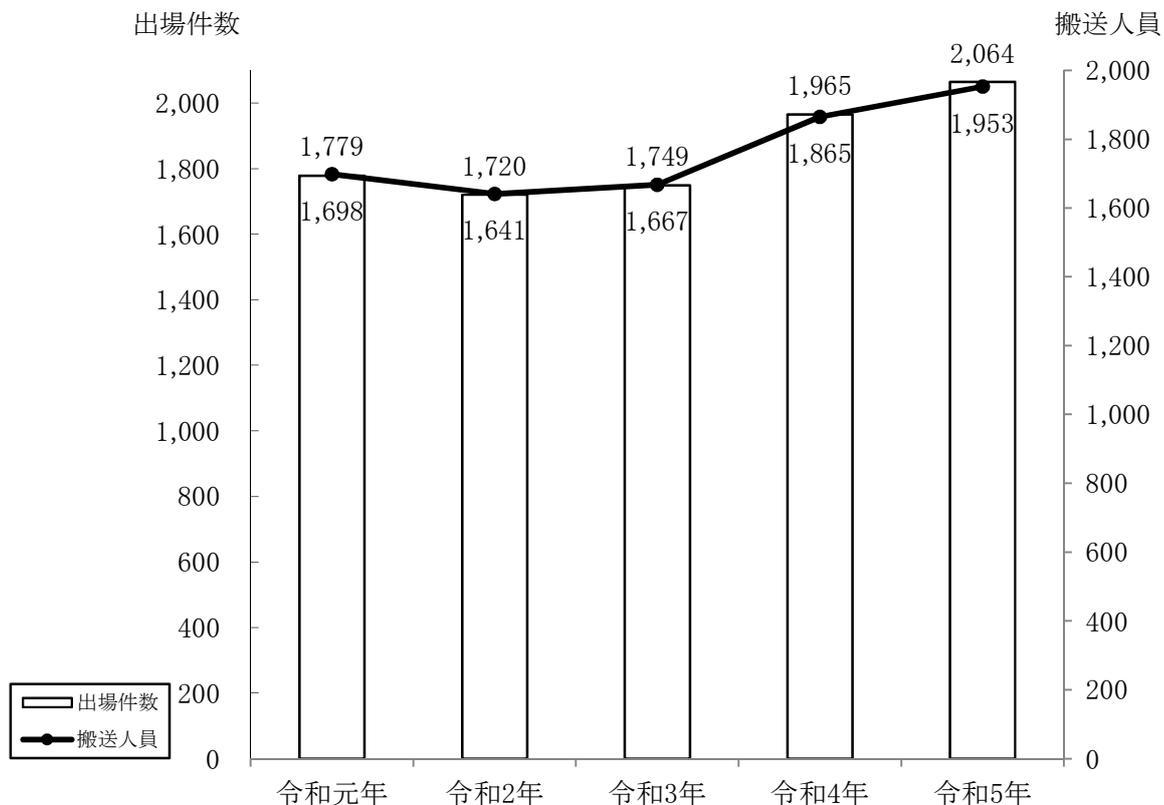
(6) 風向別火災発生状況



救 急 ・ 救 助

1 救 急

(1) 過去5年間の救急出場状況



		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	平均
出場件数		1,779	1,720	1,749	1,965	2,064	1,855
地区別	長門	1,004	947	1,017	1,125	1,223	1,063
	三隅	198	228	210	277	276	238
	日置	190	160	182	184	202	184
	油谷	387	384	340	379	363	371
	その他	0	1	0	0	0	0
搬送人員		1,698	1,641	1,667	1,865	1,953	1,765
傷病程度	死亡	29	43	34	54	53	43
	重症	438	537	669	675	553	574
	中等症	674	603	487	508	636	582
	軽症	557	458	477	628	711	566

(2) 救急出場状況

区分 地区別	出 場 件 数	搬 送 件 数	医 師 搬 送 件 数	事 故 種 別										
				火 災	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	2,064 (1,965)	1,953 (1,865)		5 (2)	(1)	9 (5)	97 (73)	18 (22)	9 (9)	377 (359)	3 (4)	16 (10)	1,317 (1,263)	213 (217)
長 門	1,223 (1,126)	1,159 (1,054)		2 (2)		3 (4)	62 (35)	10 (11)	5 (4)	215 (205)	2 (1)	4 (9)	740 (670)	180 (185)
三 隅	276 (277)	260 (267)				1	8 (10)	2 (3)	1	41 (45)	(2)	5	200 (199)	18 (18)
日 置	202 (184)	196 (181)				1	16 (11)	1 (3)	2 (2)	40 (34)	1	(1)	132 (124)	9 (9)
油 谷	363 (378)	338 (363)		3	(1)	4 (1)	11 (17)	5 (5)	1 (3)	81 (75)	(1)	7	245 (270)	6 (5)
そ の 他														

() 内は昨年の数値

(3) 救急隊別救急出場状況

区分 地区別	計	医 師 搬 送 件 数	事 故 種 別										
			火 災	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	2,064		5		9	97	18	9	377	3	16	1,317	213
中 央 消 防 署	1,561		2		6	70	10	7	271	2	9	984	200
西 消 防 署	503		3		3	27	8	2	106	1	7	333	13

(4) 月別救急出場状況

事故種別		計	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
月別													
計	出場件数	2,064	5		9	97	18	9	377	3	16	1,317	213
	搬送人員	1,953	6		4	100	17	9	359	3	9	1,246	200
1月	出場件数	195				3	3		27		1	143	18
	搬送人員	177				3	3		26		1	127	17
2月	出場件数	130				7	2		19			79	23
	搬送人員	122				6	2		17			76	21
3月	出場件数	163	1		3	5	1	1	24	1	1	105	21
	搬送人員	147	1		1	5	1	1	24	1		96	17
4月	出場件数	179	2		2	9	3	2	26		1	112	22
	搬送人員	170	3		1	11	3	2	24		1	104	21
5月	出場件数	157			1	12	1	1	34		3	86	19
	搬送人員	143			1	12		1	30		3	80	16
6月	出場件数	142				11	1	2	28			88	12
	搬送人員	138				10	1	2	28			86	11
7月	出場件数	188				3	1	1	36	1		127	19
	搬送人員	180				3	1	1	32	1		122	20
8月	出場件数	229			1	7	1	1	34		3	166	16
	搬送人員	223			1	9	1	1	32		1	163	15
9月	出場件数	185	1		1	10	2		40		4	112	15
	搬送人員	175	1			10	2		40		2	105	15
10月	出場件数	156	1			10		1	36	1		94	13
	搬送人員	153	1			9		1	36	1		92	13
11月	出場件数	176				12	1		36		1	106	20
	搬送人員	172				15	1		34		1	101	20
12月	出場件数	164			1	8	2		37		2	99	15
	搬送人員	153				7	2		36			94	14

(5) 不搬送状況

事故種別		計	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
区分													
計		126			5	9	1		17		7	73	14
辞退(到着前)		6							1			4	1
辞退(到着後)		25				2			7			16	
拒否		30			1	4			4			20	1
明らかな死亡		40			3		1		4		7	24	1
他車搬送		3				1						2	
傷病者なし		5			1	1						2	1
誤報		10							1			1	8
いたづら		1											1
その他		6				1						4	1

(6) 時間別救急出場状況

事故種別 時間別	計	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	2,002	5		9	97	18	9	377	3	16	1,317	213
0～2	t					1		13		1	44	3
2～4	69				2			12		1	54	
4～6	77					1		10			63	3
6～8	181			1	5	1		29		3	136	6
8～10	290	1		1	11	7		60		2	166	42
10～12	281	2		2	12	2	2	60			156	45
12～14	248	1			16	1	3	36		3	149	39
14～16	210	1		2	19	1	2	38		3	120	24
16～18	213			1	22	1	1	42	1	1	124	20
18～20	207			1	4	2	1	37		2	151	9
20～22	142			1	5			22	2		99	13
22～24	84				1	1		18			55	9

(7) 曜日別救急出場状況

事故種別 曜日別	計	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	2,064	5		9	97	18	9	377	3	16	1,317	213
日	288	1		1	17	1	2	55		1	199	11
月	314	1			11	3	1	64			192	42
火	287			1	14	3	1	44	1	3	194	26
水	299				9	2	1	56		1	193	37
木	289	2		1	14	2	1	48		3	178	40
金	305			1	16	5	1	60	2	4	179	37
土	282	1		5	16	2	2	50		4	182	20

(8) 傷病程度・年齢別搬送状況

事故種別		計	火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
年齢・程度別													
合計	計	1,953	6		4	100	17	9	359	3	9	1,246	200
	死亡	53			1	1	1		3		3	43	1
	重症	553				11	4	2	122		1	289	124
	中等症	636	1		2	20	7	3	103	1	1	431	67
	軽症	711	5		1	68	5	4	131	2	4	483	8
	その他												
新生児 生後28日未満	計	6											6
	死亡												
	重症	2											2
	中等症	4											4
	軽症												
	その他												
乳幼児 生後28日以上満7歳未満	計	37				3			7			21	6
	死亡	1										1	
	重症	2											2
	中等症	15				1			1			10	3
	軽症	19				2			6			10	1
	その他												
少年 満7歳以上満18歳未満	計	54				12		5	2		1	30	4
	死亡												
	重症	3						1				1	1
	中等症	18				1		2	1			11	3
	軽症	33				11		2	1		1	18	
	その他												
成人 満18歳以上満65歳未満	計	362	2		2	43	13	4	50	2	3	206	37
	死亡	4					1					3	
	重症	65				3	4	1	8			29	20
	中等症	105			1	11	5	1	17		1	56	13
	軽症	188	2		1	29	3	2	25	2	2	118	4
	その他												
老人 満65歳以上	計	1,494	4		2	42	4		300	1	5	989	147
	死亡	48			1	1			3		3	39	1
	重症	481				8			114		1	259	99
	中等症	494	1		1	7	2		84	1		354	44
	軽症	471	3			26	2		99		1	337	3
	その他												

(9) 応急処置状況

事故種別 応急処置区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置人員	1,953	1,246	100	359	248
計	8,216	5,396	431	1,387	1,002
止血	32	2	2	23	5
固定	51	2	16	25	8
人工呼吸	1	1			
心臓マッサージ					
心肺蘇生	53	42	1	3	7
酸素吸入	334	231	9	14	80
気道確保	69	58	1	3	7
保温	10	2	1	4	3
被覆	90	5	11	65	9
在宅療法継続	81	67		6	8
ショックパンツによる血圧維持					
除細動	3	3			
静脈路確保	23	19		2	2
薬剤投与	15	12		2	1
血糖測定	14	13			1
ブドウ糖投与	2	2			
その他の応急処置	1,885	1,207	97	357	224
血圧測定	1,874	1,196	96	350	232
聴診器による聴取	543	412	54	48	29
血中酸素飽和度測定	1,904	1,209	97	356	242
心電図	1,232	913	46	129	144

(10) 特定行為の処置状況

年別 処置区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
処置実施人数	38	47	39	63	44
ラリングアルチューブ	1	5	1		
気管挿管	2	1	3	6	6
除細動	5	10	1	4	3
静脈路確保	28	23	37	31	23
薬剤投与（アドレナリン）	16	12	10	18	15
薬剤投与（ブドウ糖）	3	4	4	5	2
血糖測定	23	19	9	23	14

※ 処置実施人数と処置数は必ずしも一致しません。

(11) 転院搬送状況

搬送先 診療科目	計	一次医療機関		二次医療機関			三次医療機関			
		市内	市外	市内	市外	市外	ドクヘリ			
計	199	2	2		130	74	56	67	42	25
脳外科	48				13		13	35	19	16
循環器科	29				21		21	8	4	4
内科	58	1	1		50	41	9	7	6	1
外科	13				12	11	1	1	1	
整形外科	27				22	17	5	5	4	1
産婦人科	2				1		1	1	1	
小児科	12				3		3	9	6	3
その他	10	1	1		8	5	3	1	1	

(12) ドクターヘリ要請状況

	要請件数	出動件数	出動件数		未出動件数内訳		未出動件数理由				
			現場出動	転院搬送	現場出動	転院搬送	時間外要請	天候不良	重複要請	その他	
											ヘリ不搬送 二次病院搬送
令和5年	30	30	5		25						
令和4年	38	38	7	(1)	31						
令和3年	54	54	15	(1)	39						

(13) 診療科目別ドクターヘリ搬送状況

搬送元 診療科目	計	転院搬送	現場要請
計	30	25	5
脳外科	17	16	1
循環器科	5	4	1
内科	1	1	
外科	2		2
整形外科	2	1	1
小児科	3	3	
産婦人科			
その他			

2 救急講習

年別	区分	計		上級救命講習		普通救命講習		救急講習		
		回数	延べ人員	回数	延べ人員	回数	延べ人員	回数	延べ人員	
令和元年		78	1,485	1	21	I	14	262	44	1,042
						II	19	160		
令和2年		21	306	0	0	I	5	148	9	103
						II	7	55		
令和3年		59	981	2	10	I	8	197	43	679
						II	6	95		
令和4年		72	1,291	1	24	I	10	246	49	891
						II	12	130		
令和5年		74	1,419	1	23	I	15	405	49	902
						II	9	89		

3 救助

年別	区分	事故種別	計	火	交	水	風	機	建	ガ	爆	そ
				災	通	難	水	械	物	ス	発	の
				災	故	事	害	による	による	及び	事	他の
				災	故	故	自然	事故	事故	酸	故	事故
				災	故	故	災害	事故	事故	欠	故	事故
令和元年	出動件数	22		15	4							3
	活動件数	3		2	0							1
	救助人員	3		2	0							1
令和2年	出動件数	18		11	3							4
	活動件数	6		3	1							2
	救助人員	7		4	1							2
令和3年	出動件数	14		10	2							2
	活動件数	6		5	0							1
	救助人員	6		5	0							1
令和4年	出動件数	15		8	2			1				4
	活動件数	6		3	0			0				3
	救助人員	6		3	0			0				3
令和5年	出動件数	23		11	7			1				4
	活動件数	10		3	5			1				1
	救助人員	10		3	5			1				1

消 防 団

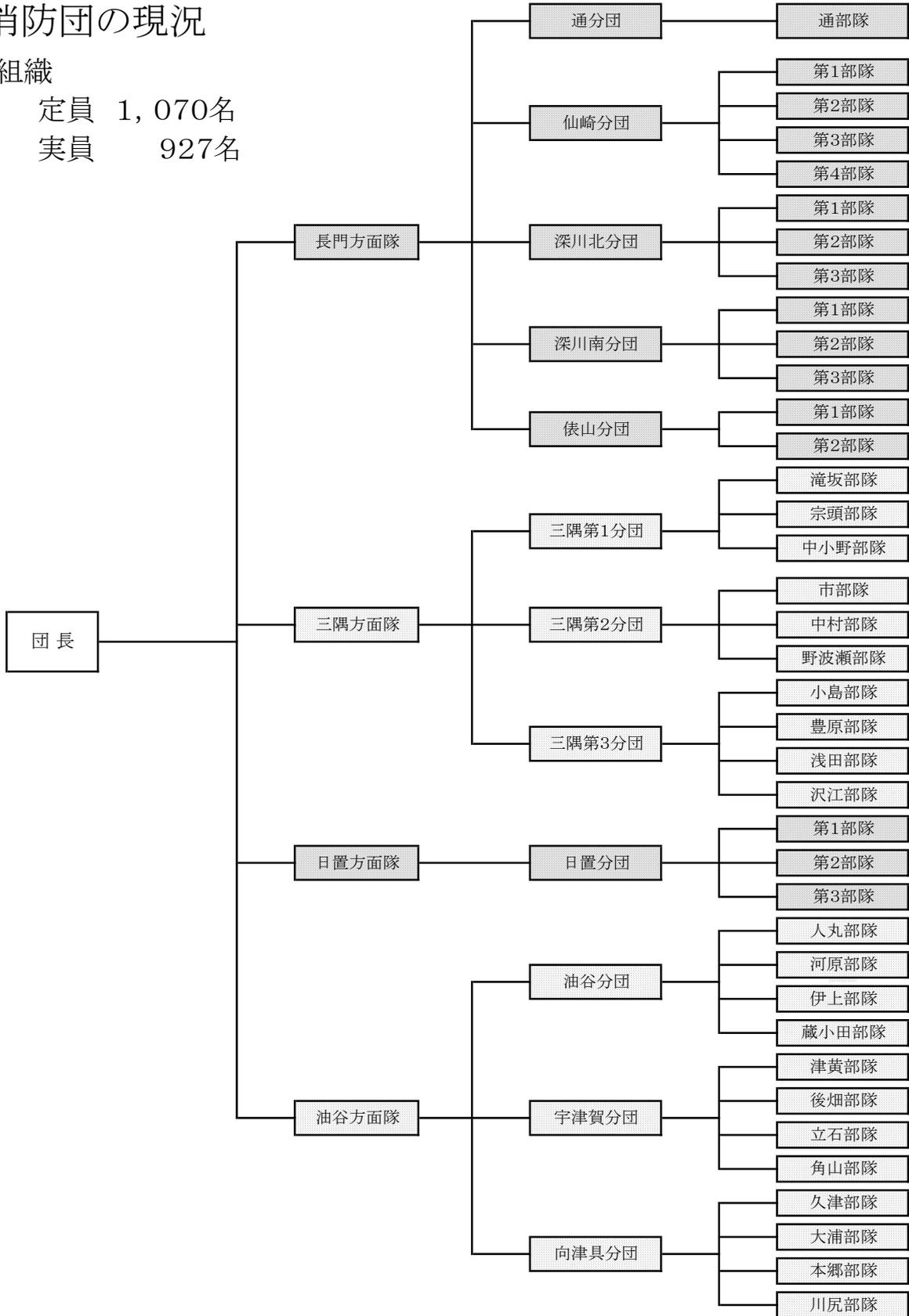
令和6年4月1日現在

1 消防団の現況

(1) 組織

定員 1,070名

実員 927名



(2) 部隊別団員数と保有機材

令和6年4月1日現在

人員機材				階級別消防団員数							保有機材																			
				団長	方面隊長 (副団長格)	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員	消防ポンプ車	小型動力車	積載型ポンプ車	ポンプ															
所 属	方面	分団	部 隊																											
長 門	通 仙 崎	通	第1	1	1	1	1	10	31	1	2	2																		
			第2										1	1	1	1	3	10	1	1	1									
			第3																			1	1	1	1	3	17	1	1	1
			第4																											
	深川北	1	1	第1	1	1	1	1	9	33	1	2	2																	
				第2										1	1	1	1	9	31	1	3	3								
				第3																			1	1	1	6	21	1	1	1
				第1																										
	深川南	1	1	第2	1	1	1	1	4	13	1																			
				第3										1	1	1	6	30 (4)	3	3										
				第1																	1	1	1	7	30 (1)	2	2			
				第2																								1	1	5
三 隅	二隅第1	滝宗中	坂頭野	1	1	1	1	1	6		1	1																		
			小野										1	1	1	3	12	1	1											
			村瀬																	1	1	1	4	13	1	1				
			波瀬																								1	1	1	4
	三隅第3	小島	豊原	江	1	1	1	1	5	18	1		1																	
				田										1	1	1	3	7	1	1										
				江																	1	1	1	2	6	1	1			
				第1																								1	1	7
日 置	日 置	第2	1	1	1	1	8	21	1	1	1																			
		第3										1	1	1	3	11	1	1	1											
		第1																		1	1	5	16	1	1					
油 谷	油 谷	人丸	原上	1	1	1	1	4	17		1	1																		
			伊田										1	1	1	4	15	1	1											
			小田																	1	1	1	5	15	1	1				
			津黄																								1	1	2	16 (12)
	宇津賀	後立	石	山	1	1	1	1	2	6 (5)		1	1																	
				角										1	1	1	2	9 (4)	1	1										
				山																	1	1	1	3	12 (5)	1	1			
				津																								1	1	5
	向津具	久大	本川	浦郷	1	1	1	1	5	19	1		1																	
				川										1	1	1	4	15 (4)	1	1										
				第1																	1	1	1	5	14	1	1			
				第2																								1	1	5
計	12	38	1	4	12	12	38	38	176	646 (35)	18	37	45																	

※うち()は機能別団員

(3) 年齢・階級別団員数

令和6年4月1日現在

年齢	区分		団長	方面隊長 (副団長格)	分団長	副分団長	部隊長	副部隊長	班長	団員
	小計	うち女性								
20歳未満	0									
20～24	16								2	14
25～29	36								1	35
30～34	64							1	2	61
35～39	100							1	15	84
40～44	181	1			1	1	4	4	47	124
45～49	208	2			1	1	15	12	47	132
50～54	131	1			1	3	7	12	35	73
55～59	89				3	1	8	6	17	54
60～64	54	1		3	4	5	4	2	6	30
65歳以上	48		1	1	2	1			4	39
合計	927	5	1	4	12	12	38	38	176	646
	うち女性	5							1	4

(4) 団員在籍年数調

令和6年4月1日現在

階級 年令	階級					計
	本部	長門方面隊	三隅方面隊	日置方面隊	油谷方面隊	
5年未満		44	26	20	30	120
5～10年未満		83	47	16	56	202
10～15年未満		66	27	20	36	149
15～20年未満		73	32	8	41	154
20～25年未満		59	24	14	33	130
25～30年未満		37	11	10	25	83
30年以上	1	52	6	5	25	89
人数	1	414	173	93	246	927

(5) 出動状況

回数	種別						計
	火災	風水害	捜索	特別警戒	訓練	その他	
出動回数	16	1	3	1	16	12	49
出動人員	259	25	98	907	1,071	801	3,161